

新基地建設反対名護共同センターニュース

「任命拒否は学者への脅しであり、横暴だ！」



真の振興策は基地をなくすこと

亀山氏は「基地をなくすこと。コロナ対策をすることが沖縄の振興策だ。沖縄の振興のためには、浦添軍港も辺野古の新基地もなくすことです」と訴えました。ある県民は「ここに座り込んでいる意義が改めて確認できた」と感想を語っていました。

やんばる統一連が総会



やんばる統一連は6日、名護市内で第12回総会を開催しました。冒頭、土木技師の北上田毅さんが「辺野古・変更申請の問題点」を講演しました。

総会では仲本興真代表らが提案した活動のまとめと方針、新役員体制を全会一致で確認しました。

主な新役員は、代表・仲本興真（民商）、副代表・豊島晃司（医療生協）、事務局長・比嘉末美（民商）、特別幹事・具志堅徹（元県議）。

亀山氏は加藤官房長官が「基地負担と沖縄振興策はあ
る意味リンクしている」などと発言したことに、沖
縄振興特別措置法を解説しながらリンク論の誤りを解
き明かしました。亀山氏は「沖縄振興特別措置法は、沖
縄の置かれた特殊な諸事情（琉球処分や沖縄戦、戦後2
7年間の米占領など）に鑑み、沖縄振興基本方針を策定
し、これに基づき特別措置を講ずることが目的だ。沖縄
の観光や雇用、漁業など産業、伝統文化、自然環境を守
ることは、基地負担とは別に国が当たり前に予算を出す
べきだ。法の趣旨からいえば基地とリンク論は両立する
わけがない」と菅政権を批判しました。

特措法は基地と振興策をリンクせず

亀山氏は「任命拒否問題にふれ、「任命
拒否は学者への脅しであり横暴だ。これを認めてしまっ
たら、『政府・与党の言うなりにならないなら【沖縄も】
つぶしてしまうぞ」ともなりかねない。撤回させよう」
と菅政権への抗議を呼びかけました。

「オール沖縄」の県議団 2週連続でゲート前へ

ゲート前では5日午前9時、デニー知事を支える「オール沖縄」
の与党県議12人が前週に続いてゲート前に並び（写真）、座り込む
人々に連帯の挨拶をしました。この後、各県議はテント村での「辺
野古塾」を聴講するグループと安和や塩川港での抗議活動する人々
への激励・連帯するグループに分かれて活動しました。



座りこむ県民を前にあいさつする
与党県議の皆さん

亀山助教ゲート前でリンク論でも菅政権を批判

「辺野古から見える日本の政治」 滋賀県で早坂氏招き講演会



滋賀県大津市のJCP（日本共産党）滋賀学区後援会（事務局・高田恵子さん）は8
日、大津市内で名護共同センターの早坂義郎氏（写真）を招き「沖縄・辺野古から見え
る日本の政治」と題して講演会を開催、同学区内外から56人が参加しました。講演で
はスライドで辺野古のおじい、おばあたちがたたかいたち上がったドラマや「オール
沖縄」への発展経過、辺野古の現状、菅政権のもとでのたたかひの展望など学びました。

「不屈のたたかひに感動した」、「沖縄のようにたたかおう！」

翌9日、新婦人滋賀県本部も草津市内で同じ趣旨の講演会を16人の参加で開催。
両会場とも参加者は熱心にスライドに見入り、沖縄県民のたたかひのドラマに共感
していました。参加者から「とても分かりやすかった」、「沖縄県民の不屈性と団結
力の強さに感動しました」、「沖縄のように滋賀でもたたかおう!」、「このプレゼン
をナレーション入りでDVDにしてほしい」などの感想や要望が寄せられました。